

# 平成24年度第2四半期までの運用状況等

## (平成24年4月～9月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

### 2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

# 目 次

	頁
1. 平成24年度第2四半期（平成24年4月～9月）までの運用環境について . . . . .	1
2. 平成24年度第2四半期（平成24年4月～9月）までのポートフォリオ別の運用状況 . . . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移 . . . . .	4
参考：用語の説明 . . . . .	5

## 1. 平成24年度第2四半期まで（平成24年4月～9月）の運用環境について

### ○国内外の金融・経済情勢について

#### （第1四半期）

第1四半期の国内外株式市場は、4月初旬から米雇用統計の弱い結果や欧州債務問題への再燃懸念等により下落、5月には欧州情勢の悪化等から世界的に大幅な株安が進行しました。6月は欧州財務相会議でスペイン銀行支援が合意に達したことやギリシャ再選挙で緊縮財政派が勝利したこと及び欧州連合(EU)首脳会議での金融市場安定化に向けた合意を好感して上昇しました。債券市場では、安全資産を買う動きから10年国債利回りは0.83%、米10年国債利回りは1.56%となりました。為替市場では、円高傾向で推移し、対ドルで79円79銭、対ユーロで101円26銭となりました。

#### （7月）

7月の国内外株式市場は、米国景気減速懸念や欧州債務問題を背景に売りが優勢となりましたが、月末にかけて欧州中央銀行(ECB)ドラギ総裁のユーロ防衛への積極的な発言を受けて反発しました。債券市場では、10年国債利回りは0.79%、米10年国債利回りは1.47%に低下しました。為替市場では、対ドルで78円10銭、対ユーロで96円19銭に円高が進行しました。

#### （8月）

8月の国内外株式市場は、経済指標の改善から中旬にかけて上昇しましたが、国内株は中国の景気減速懸念や月末の鉱工業生産指数の弱い結果から月間で下落しました。一方、米国株は追加金融緩和への根強い期待等から月間で上昇しました。債券市場では、10年国債利回りはほぼ横ばいの0.79%、米10年国債利回りは1.55%となりました。為替市場では、対ドルでは前月とほぼ同水準の78円30銭、対ユーロでは欧州懸念の和らぎ等から円安ユーロ高の98円70銭で8月を終えました。

#### （9月）

9月の国内外株式市場は、ECB理事会の無制限の国債購入プログラム(OMT)の決定、米連邦公開市場委員会(FOMC)の量的緩和第3弾(QE3)決定、日銀の追加金融緩和等を好感して中旬にかけて上昇しました。その後は中国や欧州の景気減速懸念等を背景に下落しましたが、月間では上昇しました。債券市場では、日銀の追加金融緩和から10年国債利回りは0.77%に低下、米10年国債利回りはQE3によるインフレ懸念等から一時大きく上昇しましたが、月末には欧州景気減速懸念等から低下し1.63%となりました。為替は、対ドルでは円高基調が継続し77円80銭、対ユーロではECB理事会のOMT決定を受けて円安ユーロ高となり100円9銭で9月を終えました。

## 2. 平成24年度第2四半期(平成24年4月～9月)までのポートフォリオ別の運用状況

### ① 被保険者ポートフォリオ

平成24年度第2四半期(平成24年4月～9月)までの被保険者及び期待者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成24年9月末の時価総額は1,583億21百万円となり、第2四半期総合収益は-23億67百万円となりました。また、修正総合利回りは-1.48%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成23年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 保険料・国庫補助 投下額等②	計 ③=①+②	平成24年9月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	107,216	1,839	109,055	110,279	69.7	1,224	1.13
自家運用	52,573	1,167	53,740	54,102	34.2	362	0.68
外部運用	54,643	672	55,314	56,177	35.5	863	1.57
国内株式	21,538	907	22,445	19,799	12.5	-2,646	-11.98
外国債券	8,103	-188	7,916	7,668	4.8	-247	-3.10
外国株式	21,576	-389	21,187	20,515	13.0	-672	-3.12
短期資産	90	-4	86	60	0.0	-26	—
合 計	158,523	2,164	160,688	158,321	100.0	-2,367	-1.48

- (注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。  
2. 国内債券のうち自家運用(満期保有分(基本的に50%))については、償却原価法を適用しています。  
3. 「第2四半期までの保険料・国庫補助投下額等②」欄は、受給権者経理への繰入額及び死亡一時金の給付額を控除しています。  
4. 短期資産の修正総合利回りの数値は、信託報酬及び保管手数料を含めているため、表示していません。  
なお、外貨流動性預金に係る為替評価損益等を整理する前の短期資産の利回りは、自家運用分が0.025%、外部委託分が0.043%となりました。  
5. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成24年度第2四半期(平成24年7月～9月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資 産	平成24年6月末 時価総額 ①	第2四半期保険料・ 国庫補助投下額等②	計 ③=①+②	平成24年9月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第2四半期総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	108,982	827	109,809	110,279	69.7	470	0.43
自家運用	53,264	656	53,920	54,102	34.2	182	0.34
外部運用	55,718	171	55,889	56,177	35.5	288	0.52
国内株式	19,660	741	20,401	19,799	12.5	-602	-2.98
外国債券	7,585	64	7,649	7,668	4.8	19	0.25
外国株式	19,699	-147	19,552	20,515	13.0	963	4.89
短期資産	401	-334	67	60	0.0	-7	—
合 計	156,327	1,151	157,478	158,321	100.0	843	0.54

## ② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成24年度第2四半期(平成24年4月～9月)までの付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成23年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成24年9月末 時価総額 ④	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
付利準備金	短期資産	1,037	291	1,328	1,330	1.2	0.09
調整準備金	短期資産	906	122	1,028	1,029	0.7	0.07
合 計		1,943	413	2,356	2,358	1.8	0.08

(注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。

2. 「第2四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額の差額を計上しています。

## ③ 受給権者ポートフォリオ

平成24年度第2四半期(平成24年4月～9月)までの受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

資 産	平成23年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成24年9月末 時価総額 ④	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	11,319	3,011	14,330	14,585	255	2.03
短期資産	246	226	472	472	0.1	0.04
合 計	11,565	3,237	14,802	15,056	255	1.98

(注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。

2. 「第2四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、年金及び死亡一時金の給付額の差額を計上しています。

## ④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

平成24年度第2四半期(平成24年4月～9月)までの受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

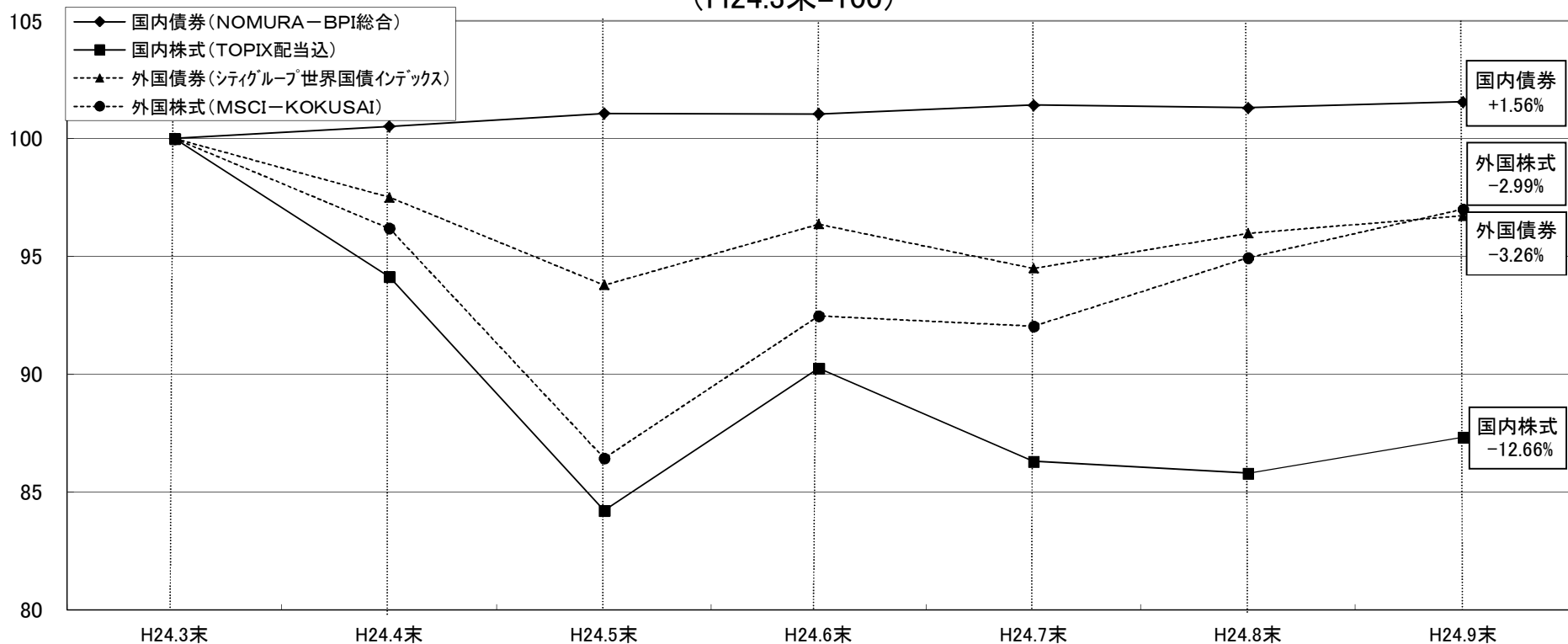
(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成23年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 繰入額 ②	計 ③=①+②	平成24年9月末 時価総額 ④	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
調整準備金	短期資産	812	76	888	889	0.5	0.07

(注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。

2. 「第2四半期までの繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額及び被保険者危険準備金ポートフォリオからの受入額の合計額を計上しています。

## ベンチマーク・インデックスの推移 (H24.3末=100)



### ○運用環境

	平成24年3月末	平成24年6月末	平成24年9月末
国内債券(新発10年国債利回り)	0.984 %	0.833 %	0.770 %
(NOMURA-BPI総合)	338.183 ポイント	341.726 ポイント	343.467 ポイント
国内株式(日経225)	10,083.56 円	9,006.78 円	8,870.16 円
(TOPIX配当込)	1,109.28 ポイント	1,001.27 ポイント	968.82 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	2.211 %	1.646 %	1.634 %
(独10年国債利回り)	1.794 %	1.583 %	1.442 %
(シテグループ世界国債インデックス)	305.17 ポイント	294.11 ポイント	295.21 ポイント
外国株式(NYダウ)	13,212.04 ドル	12,880.09 ドル	13,437.13 ドル
(独DAX指数)	6,946.83 ポイント	6,416.28 ポイント	7,216.15 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	1,215.125 ポイント	1,123.793 ポイント	1,178.796 ポイント
為替レート(対ドル)	82.30 円	79.79 円	77.80 円
(対ユーロ)	109.59 円	101.26 円	100.09 円

## 用語の説明

### ○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

### ○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

### ○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

### ○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

#### \* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

#### \* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

#### \* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

#### \* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。